

11月17日(水) 午後7時

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 小ホール

全席自由 3,000円(学生2,000円)

リヒャルト・シュトラウス 没後50年記念企画

田島茂代 (ソプラノ)

リヒャルト・シュトラウス歌曲全曲シリーズ(I)



●PROGRAMM

●乙女の花 (1886~) Mädchensblumen op.22

矢車菊
Kornblumen
けしの花
Mohnblumen
きづた
Efeu
すいれん
Wasserrose

●ばらの花環 (1898) Das Rosenband

●15ペニヒ (1898) Für fünfzehn Pfennige

●若者の誓い (1901) Junggesellenschwur

●私の父は言いました (1898) Mein Vater hat gesagt

●4つの最後の歌 (1948) 4 Letzte Lieder

春
Frühling
9月
September
眠るとき
Beim Schlafengehen
夕映えの中で
Im Abendort

●私の思いのすべて (1887~88) All' meine Gedanken

●サフラン (1882~83) Die Zeitlose

●万霊節 (1882~83) Allerseelen

●お申込み・お問合せ:

日本メサイア協会 077-537-2003(FAX 537-1731)

●後援:財団法人 びわ湖ホール/しがぎん経済文化センター



ピアノ: 船橋美穂

交響詩——絢爛たるデカダンス

『ドン・ファン』『死と浄化』『ツァラトゥストラはこう語った』『ドン・キホーテ』『英雄の生涯』

オペラ——陶醉させる官能美

『サロメ』『エレクトラ』『ばらの騎士』『影のない女』『アラベラ』

後期ロマン派を代表するリート作曲家でもあるリヒャルト・シュトラウスの世界
シュトラウスが生まれ育ったミュンヘンに留学した田島茂代が
約160篇にも及ぶ歌曲の全曲演奏にライブワークとして挑む
朗読やスライド等を用いて 新しいスタイルのリート・コンサートを目指す

プフィッツナー歌曲コンクール 第2位、ARDミュンヘンコンクール 第4位
びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録団員
湖国の生んだプリマ 田島茂代が送る R.シュトラウスの世界
リヒャルト・シュトラウス没後50年記念の今年、スタート

朗読: 瀬戸口 郁

田島 茂代 (ソプラノ)

彦根市に生まれ。彦根東高校、東京芸術大学声楽科卒業。同大学大学院修士課程修了、卒業時に、松田トシ賞を受賞。1992年よりドイツに留学。94年ミュンヘン国立音大マイスタークラス修了。94年プフィッツナー歌曲コンクール第2位、ARDミュンヘン国際コンクールファイナリスト(女声第4位)、97年J.S.G.国際コンクール第3位受賞。これまでに、故 木村宏子、黒川綾子、多田羅迪夫、安井史恵子、村岡利秀、H. ブラシュケ、H. ドイチュ、D. ヘルマン、H. マルティン・シュナイトの各氏に師事。またヨーロッパにおける講習会でエルンスト・ヘブリガー、ハンス・ホッター、クリスタル・ルートヴィッヒにも師事する。演奏会にはドイツはもとより、オーストリア、スイス、オランダ等において教会やコンサートの宗教曲のソリストとして、又、ドイツリートコンサートの数多く出演。それらは、新聞の批評においても高く評価され、西ドイツ放送、南ドイツ放送局のラジオで放送された演奏もある。主な共演者として、ミュンヘナー・バッハコーラス、バンベルガー・シンフォニカー、サー・コリン・デービス、日本においては東京都響、アンサンブル金沢(岩城宏之:指揮)等が上げられる。96年帰国後、97年10月に再度ミュンヘンにて、バッハ「ロ短調ミサ」に出演、98年7月には、ドイツ・キームゼー音楽祭にて、「魔笛」のバミーナ役でオペラデビューを果たし好評を博す。現在東京芸術大学大学院博士後期課程に在籍。滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 声楽アンサンブルソロ登録メンバー。県内では、琵琶湖の春のメサイア、彦根での第九、夏の関西フィルとのリラックスコンサート等で、その美声を披露している。

船橋 美穂 (ピアノ)

京都市立芸術大学音楽学部ピアノ課卒業。1983年よりアメリカにて、リサイタルやコンクールの伴奏、室内楽で活躍し好評を得る。エール大学大学院音楽科教授シドニー・ハース氏等のもとで伴奏者として研鑽を積み、アンサンブルピアニストとして高い評価を受けた。1990年帰国。ソロ活動だけでなく、2台のピアノの演奏会、NHK交響楽団メンバーとの度重なる共演をはじめ、声楽、器楽リサイタルの伴奏など多数の演奏会、CD録音に出演し、そのレパートリーは幅広く多彩である。NHK-FM放送にも伴奏者としてたびたび出演する。1997年より、「サウンド・プリズム」と題したピアノアンサンブルシリーズを主催して、ピアノの様々な可能性を探っている。樫久美子、元演綴子、岩崎淑、平井丈二郎、ワード・ダヴィニーの各氏に師事。リート伴奏においては、佐々木成子氏、ライナー・ホフマン氏に師事する。滋賀県立石山高等学校音楽科、京都文教短期大学非常勤講師。

《歌・うた・唱 3公演セット》

限定50セット 5,000円

- ① 11/7(日) 2:00 安土文芸セミナーヨ [自由席 3000円 学生1500円]
「エマ・カークビー(ソプラノ)& アントニー・ルーリー(リュート)」

ルネッサンスの歌姫 驚異の透声で聴く ルネッサンス音楽の数々。古楽界のソプラノの第一人者、ノン・ヴィブラートの透明な声、コロラトゥーラやレチタティヴオで音程がまったく狂わないのは驚異的。

- ② 11/17(水) 7:00 びわ湖ホール 小ホール [自由席 3000円 学生2000円]
「田島茂代(ソプラノ)リヒャルト・シュトラウス歌曲全曲シリーズ(I)」

メサイア演奏会でのソロ、びわ湖ホール声楽アンサンブルでの活躍で既におなじみ。
湖国の歌姫が望むライフワーク的企画を皆様とともに応援しましょう。

- ③ 12/4(土) 6:00 安土文芸セミナーヨ [自由席 3000円 学生2000円]
「バッハ:クリスマス・オラトリオ演奏会 第1部、2部、3部」

澤正徳:指揮 バロック・オーケストラの演奏とパイプオルガン
そしてメサイア合唱団のドイツ演奏旅行社行会も含めて、素敵なクリスマス・シーズンの到来を告げます。
昨年好評の第1回から2回目の公演。